

令和4年度第1回
福島県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
開催概要

- 1 開催日時 令和4年8月4日(木) 13:30~15:00
- 2 開催場所 福島職業能力開発促進センター 教室棟イベントホール
- 3 主な議題
 - ・令和3年度事業実施状況及び令和4年度事業計画等について
 - ・施設部会について
- 4 協議内容
資料に沿って事務局から説明が行なわれた後、意見交換が行われた。
主な意見は以下のとおり。

(離職者訓練について)

- ・離職者訓練修了者の就職率や正社員就職率は非常に高いが、求人企業と求職者のミスマッチが発生しないよう努めていただきたい。
- ・人手不足に苦しむ地元企業にとって、技能を習得したポリテクセンター修了者とのマッチングは絶好の機会と思われるので、新規の求人企業開拓も積極的に行われない。

・最近の若い方は就職してもすぐに辞めてしまう傾向にある。ポリテクセンターではビジネススキル付き講習も行っておられるが、当該講習修了者の就職後の定着状況にも注視されたい。

・訓練受講者の年齢層が高まりつつあるなど、時代を背景とした受講者の変化や社会ニーズなどを踏まえ、訓練カリキュラムを機動的に見直していくことも肝要であると考えます。

(職業訓練指導員の人材育成について)

・時代に則した、現場で必要とされる人材を送り出すことができるような職業訓練を行うためには、職業訓練指導員も常に新しい技能を教えられるよう育成が必要と考えます。

(事業主支援業務について)

・日本の労働生産性は先進国の中では下位に低迷している。また、国内を見ると、福島県の水準は他の都道府県に比べて低い。生産性向上には経営者の意識改革が必要不可欠であり、経営者クラスが生産性向上やDXの必要性を理解することや生産性向上の手法を学ぶことが、より効率的に企業の生産性を向上させることができると考えるので、生産性向上支援訓練に取り入れていただきたい。

令和4年度 運営協議会委員名簿

区分	氏名	所属及び職名
学識経験者 (4名)	岩井 秀樹	国立大学法人福島大学 経営経済学類 教授
	松崎 浩司	公益財団法人福島県産業振興センター 理事長
	小林 清美	一般財団法人福島県婦人団体連合会 会長
	安斎 康史	株式会社福島民報社 編集局長
労働者代表 (2名)	澤田 精一	日本労働組合総連合会福島県連合会 会長
	紺野 信昭	自動車総連 福島地方協議会 副議長
中小企業等代表 (3名)	石本 健	福島県商工会連合会 専務理事
	久保木光治	福島県中小企業団体中央会 事務局長
	安達 和久	福島県商工会議所連合会 常任幹事
行政機関 (3名)	武田 直也	厚生労働省福島労働局 職業安定部長
	長尾 憲宏	福島県商工労働部 産業人材育成課長
	清野 浩	福島市商工観光部 次長